

ワン・ツー・元気！5月

知っておこう 感染経路と予防法！

コロナウイルスが猛威を払っている今だからこそ！

あらためて、家庭での感染予防を親子で振り返り、大切な命を守っていきましょう！

接触感染

発病者に接触することで感染

病原性大腸菌、ヘルパンギーナ、手足口病
とびひ、流行性角結膜炎、感染性腸炎など

手洗いや消毒

で高い予防効果

飛沫感染

くしゃみや咳などで飛び散った
だ液や鼻水から感染

咽頭結膜炎(プール熱)、インフルエンザ、
リンゴ病、おたふくなど

うがいで高い予防効果

空気感染

くしゃみ、咳などで飛び出し
たウイルスが、空気中に浮遊
して感染

水ぼうそう、結核、はしかなど

予防接種や感染者に近づか
ないことで予防

この春、大阪ではやっている胃腸炎は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）

RSウイルスはせきやくしゃみなどに含まれるウイルスも吸い込む（飛沫感染）とウイルスが付着した手で口や鼻に触れる（接触感染）です。

そして、コロナウイルスは接触感染と飛沫感染に加え、空気感染もあるかもしれないと言われています。

だからこそ、手洗い(消毒)やうがい、そしてマスクは病気の予防に有効な手段なのです！



最も洗い残しをしやすい部分
やや洗い残しをしやすい部分

マスクは着け方、外し方ももちろんですが、
使用中触らないこともとても重要です！！
マスクのフィルター部分はウイルスや菌がいっぱい



集団生活の保育園や学校等では、感染の流行や集団感染が起こりやすいです。

そのため、感染拡大を防ぐには、流行しやすい疾患等は症状が回復して感染力が大幅に減少するまでの間自宅療養が必要となります。そして、再度保育園に登園するためには、医師が感染の恐れが極めて少なくなったので、登園、登校を許可する「学校感染症等に係る登校・登園に関する意見書」の提出が必要になります。（園の健康のしおりの最後に添付。コピーしてお使いください。園にも準備しています。）

意見書の必要な子どもの主な病気

はしか(麻疹)、風疹、水痘(水ぼうそう)、流行性耳下腺炎(おたふく)、インフルエンザ
咽頭結膜熱(プール熱)、アデノウイルス感染症、百日咳、流行性結膜炎(はやり目)、溶連菌感染症、
感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎、胃腸かぜ、おなかの風邪)、マイコプラズマ肺炎、RSウイルス